



年頭のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。

平素より総務省の情報通信行政に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

信越総合通信局では、「ICTで繋ぐ 地域の絆 豊かで安心な暮らし」をキャッチフレーズに、ICTの利活用を積極的に推進することにより、地域の活性化、安心や安全な暮らしの確保等の様々な社会的な課題の解決に取り組んできており、特に、地上デジタル放送に関しましては、関係の皆様方のご尽力により、信越管内の地上アナログ放送が無事終了し、地上デジタル放送に移行できましたことに対しまして、厚く御礼を申し上げます。



信越総合通信局長
佐藤 克彦

本年も、皆様のご支援、ご協力の下、電波やICTの利活用による安心で安全な暮らしの確保、電波の有効利用の促進による豊かな地域づくり、誰もが安心してICTを利用できる情報通信利用環境の整備などに向けた各種施策を全力で推進してまいり所存ですので、何卒引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

さて、管内においては、昨年3月11日に発生した東日本大震災の翌12日に起きた長野県北部地震によって長野県栄村や新潟県津南町、十日町市、上越市などに大きな被害があり、これらの災害を教訓とし、防災無線や消防無線等のデジタル化による無線システムの高度化を積極的に推進し、非常時を想定した災害時の通信確保に力を入れて取り組んでいます。

また、2015年頃を目途にすべての世帯でブロードバンドサービスの利用を実現する「光の道」を完成させることにより、暮らしに密着した医療・教育・行政などの飛躍的な向上や地域の活性化の実現を目指します。

加えて、関係機関と連携し、消費者トラブルの防止、違法有害情報対策、インターネットの安全利用の啓発などに努め、誰もが安心かつ安全に情報通信サービスを利用できる環境の整備を推進するとともに、不法無線局などの排除等により良好な電波利用環境を確保し、また、ホワイトスペースの活用など新たな電波の有効利用の促進により地域活性化や安心安全な社会の実現を支援していきます。

最後になりますが、本年も引き続き、皆様方のご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

